

No. 6 8

新春号

電機連合 西四国地協ニュース

発行所
全日本電機・電子・情報関連産業
労働組合連合会
西四国地方協議会
発行人 越智 俊盛
編集人 上甲 章史
〒790-0066 愛媛県松山市宮田町132
愛媛県勤労会館内

新年、明けましておめでとうございます。

組合員の皆さまにおかれましては、ご家族とお揃いで穏やかな新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。2018年は、全国各地で甚大な災害が発生しました。改めて被災された方々にお見舞いを申し上げます。

さて、今年には平成が終わり、新たな元号となります。己亥（つちのとい）の年は、陰陽五行では「相剋」の関係で、その年は世の中が荒れるとも言われています。その上で、識者は「今こそ、己（おのれ）の核（かく）とは何かを見つめ直し、どこでその核となる力を発揮すべきかを考える時である。チャンスは突然訪れる。自分自身に制限をつけずに、自身の力を信じて、思い切って挑戦することが肝要だ」と説いています。



新年を迎え、1月末から2019年総合労働条件改善闘争がスタートします。電機連合は、取り巻く環境・状況や連合・金属労協（JCM）の闘争方針を踏まえ、2019年闘争を「生活不安、雇用不安、将来不安」の払拭に向け、継続した「人への投資」に取り組み、すべての労働者がいきいきと働ける環境をめざし「働き方改革」を推進する闘争と位置づけています。

今次闘争では第196回通常国会で可決された「働き方改革関連法」に沿った対応が必要となります。各組合では、賃金・一時金・時間外割増率に加え、働き方改革関連法への対応、とりわけ時間外労働の上限規制や同一労働同一賃金に関する法整備への対応など、すべての労働者の雇用や労働条件の改善などに取り組みとともに、産業内格差改善に向けた取り組みと、企業業績や実態を踏まえた処遇改善に向けた取り組みを主体的かつ積極的に推進していかなければなりません。

真面目に働く人が報われる、心の通った温かい社会の実現も目指すべき目標の一つです。私たちの声を国政へ届けるためにも、電機連合組織内議員の石上としお参議院議員の2期目の挑戦を積極的に支援して参ります。皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

今年の5月から新たな元号となり、新たな歴史を刻み始めます。そのスタートにふさわしい「災い転じて福となす」、穏やかな年であります事を切に祈っております。今後とも、西四国地方協議会へのご理解、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶と致します。



電機連合西四国地方協議会 議長 越智 俊盛

新年をご家族の皆さまと健やかに お迎えになられたこととお慶び申し上げます。

今年の干支は「己亥（つちのと・い）」です。「己（つちのと）」は、草木が生長を終えて姿が整った状態を表し、「亥（い）」は、草や花が枯れ落ちて、植物の生命が引き継がれ、種の中にエネルギーがこもっている状態を表すそうです。その2つが重なる己亥の年には、完成した自己や成熟した組織が、足元を固めて、次の段階をめざす準備をするという意味があるようです。労働組合の存在意義について見つめ直す良い機会にしたいと思います。新たな時代の創造に向け、自らの力をつけて、主体性を持って挑戦する年にしたいものです。



持続可能な社会に向けて

日本が抱える最も大きな課題は、人口減少・少子高齢化が進む中で、持続可能な社会をいかに再構築するかだと思います。今後30年間で生産年齢人口が約3割減少するという労働力喪失時代を迎えます。長時間労働の是正を含む働き方の見直しによるワーク・ライフ・バランスの実現、非正規雇用問題をはじめとする雇用の質の向上や女性・高齢者の雇用促進などによる就業率の向上などを通じて、「社会全体の付加価値の向上」と「個々人の所得向上」に取り組む必要があります。また、社会保障制度の給付と負担の在り方についても再構築が必要です。

さらに、第4次産業革命による技術革新を、社会全体の生産性向上に結びつけなくてはなりません。同時に産業構造や就業構造の変化のみならず、私たちの生活や働き方に変化をもたらすことが想定され、このことに備える必要があります。めざす社会像としてSociety5.0（ソサエティ5.0）が示されていますが、視点として「人を中心に据えた社会」が大事だと思っています。

今年は、生産性向上論議がより活発になりますが、「雇用の維持・拡大」「労使の協力と協議」「成果の公正な分配」生産性運動に関する三原則を日本社会共通の価値観にすることが大事です。そして「働くことの尊厳」や「働きがい」をより重視しなければならないと思います。日本が世界に誇れる強みは「人」であり、「人が持っている無限の可能性をいかに引き出すのか、その環境をどう創るのか」を労使で、またテーマによっては政労使で徹底して論議する必要があります。「働きがい向上と会社・社会の持続的な発展の好循環」をめざしたいと思います。対話を、「石上としお」に成り代わって、丁寧に進めていただくことをお願いします。

石上としお必勝に向け、電機連合の総力結集を！

世界が進む、自国最優先の保護主義、国際的秩序の揺らぎ、合意形成機能の低下、さらには分断社会。これらに対岸の火事にはなりません。日本の民主政治の危機に、国民として、労働組合として行動を起こすことが求められています。国民の多様な価値観、いろいろな意見を認め合いながら、衆知を集め方向性を決めていく、民主的な運営による日本の政治の実現は、私たち共通の願いだと思います。

「石上としお」は、私たちと同じ目線を持った電機産業の代表です。これまでの5年間、職場の声を全力で聞き、国政の場に全力で届けてきました。その経験と実績を踏まえ、私たちの声の代弁者として引き続き活躍してもらいたいと思います。それぞれの職場で組合員一人ひとりとの対話を、「石上としお」に成り代わって、丁寧に進めていただくことをお願いします。

電機連合中央執行委員長 野中 孝泰

地協活動報告

組合役員としての第1歩をスタート

2018年11月10日(土) 愛媛県勤労会館で四国ブロック新任役員セミナーを開催し、地協加盟組合から役員9名が参加しました。

セミナーでは、労働組合の歴史や関係する法律、そして役員の仕事について講義を受けました。グループワーク(合意形成)では、個人の意見を班でまとめる難しさについても体験しました。

参加者からは、今日学んだことをベースに、組織に戻って実践し、組合役員としても信頼される行動に心がけたいと、意気込みを語ってくれました。



2019年闘争にむけた論議がスタート

2018年12月18日(火)に、2019年闘争をテーマに加盟組合の情報交換会を開催しました。

当日は、電機連合本部の小原中央執行委員より、2019年闘争を取り巻く環境や、上部団体方針を踏まえた電機連合の論議状況について説明を受けました。その後、組織間の情報交換を行い、闘争の準備状況や労使交渉をスタートしている組合からの情報提供など課題点や他組織の取り組みを共有しました。

情報交換の後に、電機連合の加藤政治アドバイザーより講演を受け、今の政治動向や危惧する課題点なども提起があり、私たちが政策制度実現に向けて取り組むべき点について学びました。

石上としおさんの政策を応援しよう!

全力で聴く。全力で届ける。全力で挑む。

産 業: 電機産業の力で魅力あふれる未来をつくります。

職 場: 誰もがイキイキと働ける職場をつくります。

暮らし: 将来にわたって安心して暮らせる社会をつくります。



石上さんの政策に関する情報はこちらから

石上としお.com

検索

石上としお

toshio_ishigami

電機連合

けんこう共済

助け合い、思いやり、あなたに寄り添う電機共済

電機連合

ファミリー サポート共済

〈遺族生活保障〉

[全労済] 団体定期生命共済 共済年金払特則

もしもの時の“家族の生活費”をバックアップ!

くらしの法律相談窓口

加盟組合の組合員やそのご家族の方が安心して生活できるよう法律関係の相談のため顧問弁護士と契約しています。一人で考えるより、まずは、くらしの法律相談の顧問弁護士に相談してみてください。

相談方法は、組合員の皆さんが所属する組合事務所から地協へ連絡し、契約している顧問弁護士を紹介するシステムになっています。

顧問弁護士は、電機連合の取り組み趣旨に沿って協力できる方と契約していますので、一時間程度の相談は無料、実務などが発生した場合でも、個別の事情に合わせて安心できる費用で対応しています。

相談窓口

☆かちまち法律事務所（弁護士 宇都宮眞由美）

☆愛媛県松山市歩行町1丁目8番地3

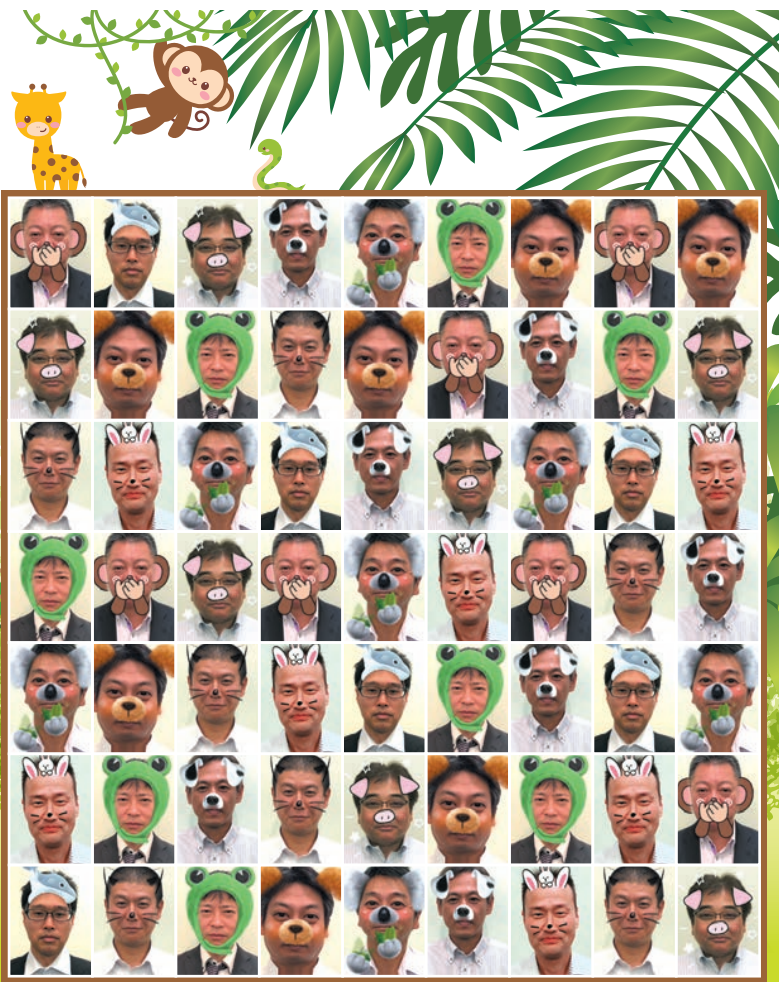
土・日・祝祭日以外 午前10:00～ 午後13:30～

相談方法（加盟組合経由で受付） ※電話相談か面談かを選択

2019 お年玉クイズ

西四国動物園に、とてもかわいい珍獣(?)がいます。
9種類の中から、一番数が少ない珍獣を探してみてください！

正解者の中から、抽選で30名の方に
図書カード(2,000円)をプレゼント



✂ 切 り 取 り 線

応募用紙

答え

珍獣名：

締め切り→2月25日までに所属組合へ提出をお願いします。

組合名

職場名

名 前